

肥前 無限大

学校目標：「志と誇りを胸に、夢に挑戦し続ける生徒の育成」

【第20号】令和7年3月24日発行
 発行者 唐津市立肥前中学校
 文責 木村 信人



本校ホームページQRコード

<https://www.education.saga.jp/hp/hizen-j/>

肥前中学校の校歌に込められた思いを胸に、未来へとつなぐ！

長年歌い継がれてきた肥前中の校歌。保護者の中には、「私も歌いました」という方も多いことでしょう。私は、専門教科が音楽なので、多くの学校の校歌を指導したり歌ったりしてきました。その中でも、ここ肥前中学校の校歌が大好きです。はつらつとしたメロディー、歌詞に込められた思いなど、「ザ・校歌！」という感じがします。

学校沿革史によると、本校がまだ「入野中学校」と呼ばれていた1957年（昭和32年）に制定されたようです。それから68年。先輩たち、そして私たちは、入学式や卒業式をはじめ、多くの場面で校歌を歌い続けてきました。

その歌詞には「究めなむ」「鍛えなむ」「和がむ」という言葉があり、それぞれに深い意味が込められています。

「究めなむ」—— 粘り強く学び続ける力

「鍛えなむ」—— 身体を鍛え、体育的・文化的活動に励む力

「和がむ」—— 自らを律し、他者を思いやる心

これらはまさに、肥前中学校が掲げる「知・徳・体」の教育理念と重なります。確かな学力（知）、豊かな人間性（徳）、そして健康でたくましい心と身体（体）。このバランスを大切にしながら、自ら考え、判断し、表現し、協調し、そして困難を乗り越える力を育むことが、これからの社会を生き抜く力になります。

私たちが歌い続けてきた校歌は、ただの伝統ではありません。そこには先輩たちの思いが込められ、未来への道しるべとなるメッセージが託されています。これからも歌詞の意味を胸に刻み、「究めなむ」「鍛えなむ」「和がむ」の心を大切にしながら、肥前中学校の誇りを未来へと歌い繋げていって欲しいと思います。

肥前中学校校歌

中島の運さに、生々々

中島 真浪 作詞
真島 豹吉 作曲

肥前中学校 校歌
中島 真浪 作詞
真島 豹吉 作曲

学年最後のクラスマッチ！

21日（金）に、学年最後のクラスマッチが行われました。2年生は「ドッチボール」、1年生は「校内かくれんぼ」と、子どもたちが自分たちで工夫を凝らしたルールで、楽しんでいました。



大変お世話になりました

この度の定期異動により、右記の8名が転出・退職となりました。長短はありますが、本校在任中は、保護者の皆様方に大変お世話になりました。誠にありがとうございました。厚くお礼を申し上げます。

8名は、当地で学んだことを生かし、これからも精進する所存です。肥前中学校の皆さんの未来が輝かしいものになることを願っています。

転出・退職の先生方

校長	木村 信人	大和中へ
教頭	有須田修治（社会）	七山中へ
指導教諭	古舘 貴宣（英語）	市教委へ
特任指導教諭	高木 俊実（数学）	退職(北波多中・佐佐中へ)
教諭	鶴田 和久（理科）	退職(第一中・湊中・玄海みらい学園へ)
教諭	松尾 陽介（数学）	湊中へ
教諭	牟田 崇晃（保体）	相知中へ
養護教諭	秀島 成美	思斉小へ